



令和3(2021)年度果樹部会なし専門部研究部研修会を開催

7月13日(火)JAビルにおいて、県内各地域のなしの中堅・若手生産者及びJA担当者など約80名が参加し、生産技術の向上や消費・販売のトレンドなどを学ぶことを目的とした「果樹部会なし専門部研究部研修会」を開催しました。

全体研修として、福島県農業総合センター果樹研究所の南様から、樹形が単純で作業効率が高い新一文字型樹形について、(株)東武宇都宮百貨店食品統括参与の山野井様から、なしを中心とした果物の消費・販売の現状と課題についてお話をいただきました。

その後、早期成園化技術として、ジョイント栽培、根圏制御栽培、新一文字型樹形栽培の3つの分科会に分かれ、実践者との意見交換が活発に行われました。

今後引き続き、当研究部員の御意見等をお伺いしながら、様々な取組を行って参ります。



全体研修会では、栽培技術や販売方法、消費者動向など、様々な質問がありました。



分科会では、それぞれの栽培方法に関心ある生産者等が参加しました。具体的なメリットや栽培する上で注意すべきポイントなど、実践者との意見交換があり、新たな栽培方法による改植・新植に向けた意欲も高まったようです。

いよいよ「梨」の季節です！

美味しい栃木県産梨を、是非お買い求めください。





令和3年度花咲くとちぎ推進協議会総会、花き部会全体会議を開催

7月2日(金)花咲くとちぎ推進協議会はJ Aビルで総会を行い、花き生産者・生花流通等関係者・消費者・関係団体等の代表者で構成される25名の委員と事務局9名が参加し、令和2年度事業並びに決算報告、令和3年度事業計画等の議案について承認をいただきました。

花咲くとちぎ推進協議会は、コロナ禍により切り花の需要が低迷しているため、事業主体として「公共施設等における花きの活用拡大支援事業」に取り組みました。J Aや市町村等48団体が参加して飾花や花育等を行った結果、県産花きの利用拡大が図られたとの意見をいただきました。

総会終了後は、栃木県花き部会全体会議を開催し、零部会長および8研究会長、県・全農等関係機関、J A花き担当者、農業振興事務所担当者等37名が出席し、今年度の県内花き関連事業に係る意見交換を行いました。



(花咲くとちぎ推進協議会総会)



(花き部会全体会議)



令和3年度栃木県花き振興協議会総会を開催

7月1日(木)、令和3年度栃木県花き振興協議会総会を行い、委員7名と事務局が参加し、令和2年度事業報告並びに収支決算、令和3年度事業計画等の議案について承認をいただきました。

令和2年度の「次世代国産花き産業推進」事業は、「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」事業と名称が変わり、事業内容も花育推進事業中心から生産供給体制強化に重点がおかれることになりました。令和3年度は、バラの生産に対し、冬期の品質と生産性向上を図るため、LED補光技術の効果を実証する予定です。





とちぎの花でスマイルアップ in NHK (7月分)

7月は、ピンクのピーチ姫と青のブルステッキ(いずれも手まりあじさいで鹿沼市生産者が育成した品種)、白(精しらたき)・黄(精こまき)・ピンク(セイスピカ)のコギク、ピンク・黄・白/赤覆輪のシングル咲きのスプレーマム、以上3種類の県産花きをご紹介します。

さて、7月から始まった東京オリンピックのビクトリーブーケに、東日本大震災で被災した地域で育てられたトルコギキョウ(福島県産)、ヒマワリ(宮城県産)、リンドウ(岩手県産)が使用されているのをご存じでしょうか。トルコギキョウとりんどうは、栃木県内で盛んに栽培されており、品質も高く自信をもってお勧めできる花です。トルコギキョウは10月から出荷が始まりますし、りんどうは8月にかけて栃木県のオリジナル品種(星あかり)等が出荷されます。

様々な場所・場面で、栃木県産花きをお楽しみください。

○NHK総合テレビ 毎週金曜日「ちよこトチ！」(総合テレビ 11:50~54)、「とちぎ630」(18:30~)



7/2 あじさい 小久保 真臣氏 (鹿沼市)



7/9 コギク 高庄 典明氏 (市貝町)



7/16 スプレーマム 蓼沼 弘一氏 (塩谷町)

※とちぎ630の画面に表示されたお名前は誤りで、正しくは 蓼沼 弘一氏です。深くお詫びいたします。



トルコギキョウ



りんどう

※ 7/23~9/3は、東京オリンピック開催のため、花のご紹介はお休みとなります。

次回は、9月10日	輪菊	那須地区
17日	ケイトウ	塩谷南那須地区
24日	ラベンダー	芳賀地区

とちぎ農産物 クチコミ隊

わたしたちは
とちぎの農産物が大好き！
みんなにおいしく伝えま〜す！！

当協会では、平成15年から、東京・神奈川の幼稚園に配布しているフリーペーパー「あんふあん」を通じて、栃木県産農産物を応援してくれる親子会員「とちぎ農産物クチコミ隊」を募り、1期～5期生約240組の親子会員を組織しています。

とちぎ農産物クチコミ隊って？

名前のとおり「クチコミ」でPRしてくれる栃木県産農産物の応援団です。

今では、隊員のお子様も二十歳前後に成長していますが、収穫体験に参加したことは忘れられず、栃木県産農産物を気にしてくれています。震災の時も、たくさんの隊員から応援のファックスやメールいただきました。

本来なら、年に2回ほど農作業のお手伝いやなどの収穫体験を開催し、生産者と消費者の相互理解を図っています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で開催することが出来ませんが、クチコミ隊には会報誌に加えSNSを活用し、栃木県産農産物の美味しさや品質の良さを情報発信しています。今年度の会報誌では新コーナーを設け、野菜ソムリエプロの他に発酵食品ソムリエ、ごはんソムリエなどの資格をもつ、蜂巢 覚さん（ハチス サトル）の「ハっちゃんのごはんがすすむ発酵食品」をご紹介します。また協会HP「カラダにとちぎ」でも掲載していますので、お家で簡単発酵食品をぜひお試しください。

クチコミ隊からの声「栃木県産で、最近好んで食べているものと食べ方を教えて！」

- ＊野菜と果物は栃木産が有れば選んでいます。特にネギと梨！
- ＊にらが大好きです、香りが良くて、ベーコンと一緒にめんつゆで軽く煮立たせて卵でとじるのが好きです。
にらじょうゆを作っておくと卵かけごはんにぴったりです、食べすぎ注意です。
- ＊にらおにぎりもおいしそうです。親戚が送ってくれる「にっこり」を正月にいつも食べています
- ＊お米は色々な県のお米が並ぶ様になったので、栃木のお米をみかけたら購入しています
- ＊ニラ 冬はキムチ鍋やもつ鍋もよく食べました。他はチジミやニラレバ、ニラタマも食べます
- ＊白美人ねぎ。ブタバラ肉でまいてやいてたべる（平野レミさんのレシピ参考にして）。
- ＊かんぴょう、栃木産にこだわっています。玉子とじが美味しいです（おふくろの味）。
- ＊野菜を購入する時は産地を確認し栃木産だと「あー栃木産だ！」と微笑んでしまい、なるべく使っています。



—新規とちぎの地産地消推進店—

店舗名	住所	電話番号 HP	代表者
tokō トコー	宇都宮市東町316-5	028-661-0788 https://toko.kitchen/	オーナーシェフ 田野 克明
箱膳 協	宇都宮市宿郷3-22-1	028-612-2325 https://tochinavi.net/spot/home/?id=19772	代表取締役 橋本 享洋

◆◆◆◆◆ 8月の予定 ◆◆◆◆◆

- 5日(木) こんにゃく作況調査 (茂木町・鹿沼市)
- 17日(火) 令和3年度スーパーコーチ受講者ヒアリング (県庁昭和館).....
- 23日(月) スプレーム研究会役員会 (J Aビル)



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 (令和3年8月発行)

TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715

<http://www.tochigipower.com/> 「カラダにとちぎ」で検索